

2023年9月定例会の特徴、反省点ならびに議会改革課題について

2023年10月12日（木）

提出委員：会派・友和（奴間健司）

1 定例会の特徴

①2022年度一般会計等決算認定審査と2023年度一般会計等補正予算審査が大きな議題だった。いずれも認定、可決したが指摘すべき事項もあった。議会の総意としては指摘できていないが各会派、各議員は文書で執行部に伝えた方が良くと考えられる。

なお、資料要求に対する文書回答については議運での反省協議を踏まえ議長から執行部に申し入れた結果、事業名が記載され改良された。

②18歳までの子ども医療費無償化の議案は条例改正と補正予算が一体で提出された。「福岡都市圏で初」ということから注目され、8月29日と9月27日の本会議にテレビ取材が入った。条例改正は賛成全員で可決したが、新たに8千万円が必要との説明があった。2024年度当初予算にどのように計上されるかが肝心であり本格的議論は来年の3月議会になる。

③決算資料等に多くのミスがあった。執行部が提出する資料の信ぴょう性が問われる事態であった。原因の究明と再発防止策は不十分であり執行部に対し改めて確認する必要がある。

2 定例会の反省点について

①本会議

ア) 本会議（1日目・8月29日）

- a. 市長による決算並びに補正予算の提案理由の説明方法を改善すること。
- b. 決算報告書、補正予算説明書について全体像を正確にわかりやすく把握できるよう作成すること。

イ) 本会議（2日目・8月31日）

- a. 「市長の見解を求める」と言う大綱質疑の定義を定めてから1年が経過した。今回は18歳までの子ども医療費無償化に対し4人が質疑した。市長への要望は大綱質疑の趣旨に沿ったものではない。

ウ) 一般質問（9月7日・5人、8日5人、計10人）

- a. 今回、通告提出締め切り日にコロナ感染の影響で提出の意思があった議員が提出できないということがあった。早急に改善策を決めた方が良く。
- b. 一般質問は議員主導で中長期的な視点の政策提言である。あくまで議員個人の提言ではあるが市長との論戦となるよう質問を組み立てることが望ましい。なおテーマによっては常任委員会等でフォローすることで深めていくことも有効といえる。
- c. 書画カメラを活用する場合は見やすいものに工夫することが望ましい。

エ) 最終日（9月27日）

- a. 討論を行った。
 - 1) 現在、議会だよりに掲載する討論は予算と決算となっている。今回の18歳までの

子ども医療費無償化に関する議案に対する討論なども掲載した方が良いのではないか。

2) 討論の役割は二つあると解説されている。

- ・意見の異なる他の議員を自己の意見に同調させること。
- ・住民に対し、事件に対する自己の考え方を表明するとともに、事件の有する課題等を住民によく認識させ、議会の選択の正当性を理解させること。

現実問題として前者の役割の意味がほぼなくなっていると言っていい状況の下では、後者の視点が重要になっていると言える。

議会基本条例でも、「議会の議決及び運営について、その経緯、理由等の説明を果たす」(第3条第3項)、「立案及び執行における論点及び争点を明らかにし、執行後における政策の評価に資するよう努める」(第10条第2項)と規定している。

「事件の有する課題」の解釈として指摘事項を述べることも含まれると考える。ただし執行部への要望は討論にはふさわしくないと考える。

また古賀市では政策決定過程を検証できる公文書が不完全であることから議会における記録が唯一の検証可能な公文書となる。その意味からも討論の役割は大きいと考える。

②常任委員会（総務9月1日、市民9月4日、文教9月6日）

ア) 会期中の常任委員会における所管事務報告と調査結果について最終日の本会議で報告すべき案件もあったと思われる。第一義的には委員長の判断が必要であると考えますが、各委員会でしっかり協議するよう心掛けてほしい。

③補正予算審査特別委員会（9月6日）

ア) 今回も取手市における補正予算説明書を提示したが、古賀市でも説明の在り方を引き続き改善すべき。

イ) 質疑の結果として指摘事項をまとめることができないか検討が必要と考える。

④決算審査特別委員会（9月15日、19日、20日、22日、22日：市長質疑、25日：討論、採決）

ア) ミスの再発防止についてどういう結論になったかは確認する必要がある。

イ) 決算資料については全体を正確に、わかりやすく把握できるよう改善を求めたい。

エ) 質疑者は10人（うち1期目議員が5人）、延べ54人であった。質疑は疑義を解明するとともに論点や争点を明確にする意味がある。質疑の内容、質疑の組み立て等について振り返ることが大切だと考える。

オ) 学校検診をめぐる質疑の過程で、学校教育課より2点の訂正があった。基礎的データの把握、部門間の連携についてはしっかり改善するよう強く求めたい。

カ) 今回も4日間かけて質疑をしたが、議会としての指摘事項を取りまとめることはできなかった。岐阜県可児市議会の取り組みを目標に据えながら、質疑通告制など引き続き決算認定審査の在り方をできるところから改善していくことが望まれる。

キ) 市長質疑で職員の健康診査委託を取り上げたが、8段階の判定区分のデータ並びにフォローについて確認していきたい。

⑤二つの特別委員会

ア) 特別委員会における所管事務報告と質疑の結果について本会議にどのように報告するか検討が必要と考える。

3 議長を通じて市長に申し入れていただきたい事項

- ①資料等のミスや部門間の連携不足について具体的な再発防止策を議会に示すこと
- ②補正予算や決算認定議案の提案理由の説明方法の改善を図ること
- ③補正予算概要、決算報告書について全体を正確でわかりやすく把握できるよう改善し提出すること

4 議会改革の取組みについて

- ①9月定例会での決算審査等を振り返るため、新人議員を中心に研修会を行ってはどうか。
- ②閉会中の各常任委員会で来年度施政方針並びに予算に反映すべき提言を取りまとめ、12月定例会の委員長報告の中で報告することをめざしてはどうか。委員長協議会で協議していただきたい。
- ③一般質問の通告書提出について
提出締め切り日の午後3時までにはやむを得ない理由で議会事務局に来られない場合、メールでの送信を受け付けること。やむを得ない理由とは感染症などで移動できない、しかし一般質問当日には通常の行動が可能と見通せる場合など。文言の修正は午後3時以降も可能とする。
- ④常任委員会の委員会録をホームページにアップすること。また、インターネット中継・録画配信を行うこと
- ⑤議会活動におけるデジタル活用の推進について（視察のテーマになると思われる）
会議録のリアルタイム文字化、タブレットでの表決システム、YouTubeでの配信・カメラの改善、会議録視覚化システム（キーワードから発言した議員の発言内容へ）、請願のメールによる受付に向けた条件整備

<資料：9月定例会の記録>

①本会議

ア) 本会議（1日目・8月29日）

a. 市長は決算並びに補正予算の提案理由の説明を口頭で行った。なお補正予算の説明は主な内容を3点にまとめるなど従来と比べて一部改良された。

イ) 本会議（2日目・8月31日）

a. 大綱質疑は3議案に対し4人が行った。

第46号議案（子ども医療費）：大隈議員、古賀議員、森議員、奴間健司

第47号議案（一般会計補正予算）：奴間

第53号議案（一般会計決算）：奴間

b. 補正予算審査特別委員会（古賀委員長、伊藤副委員長）、決算審査特別委員（松島委員長、井之上副委員長）

ウ) 一般質問（9月7日・5人、8日5人、計10人）

a. 井之上、森、今井、秋吉、大賀、伊藤、大隈、秋山、平木、奴間の10人が質問。新人議員7人全員が質問に立った。

b. 各議員が質問した中には、各常任委員会でさらに追跡すべきテーマもあったと思われる

る。鳥獣被害対策、ふれあい収集、自治会加入対策、公有財産の活用、子どもの健康課題の把握と対策など。

エ) 最終日 (9月27日)

a. 討論を行った。

第46号議案 (子ども医療費) 賛成討論: 大賀、古賀、奴間、平木

第59号議案 (鹿部無償譲渡) 賛成討論: 大賀、大隈

第47号議案 (一般会計補正) 賛成討論: 大賀、森、奴間、平木

第53号議案 (一般会計決算) 賛成討論: 大賀、森、奴間、平木

第64号議案 (意見書・保険証) 賛成討論: 大賀 反対討論: 平木

反対11、賛成7で否決

第65号議案 (意見書・インボイス) 賛成討論: 大賀、村松 反対討論: 井之上

反対10、賛成8で否決

②常任委員会 (総務9月1日、市民9月4日、文教9月6日)

ア) 総務

a. 59号議案 (財産の無償譲渡)、60号議案 (パソコン取得)

b. 所管事務報告 人事秘書課 (指定管理者評価、職員採用試験、健康経営宣言予定)

イ) 市民建産

a. 46号議案 (子ども医療費)

b. 所管事務報告 建設課 (ビッグモーター古賀店周辺の植栽柵)

ウ) 文教厚生

a. 水泳授業民間委託並びに児童館、あすなろ教室に関する現地視察

b. 所管事務報告 教育部 (令和4年度古賀市教育委員会の点検及び評価報告書について)、文化課 (文化芸術振興計画)、給食センター (公会計化の延期)、教育総務課・青少年育成課・学校教育課 (児童館、教育支援センター改修工事)、学校教育課 (水泳授業民間委託)

③補正予算審査特別委員会 (9月6日)

ア) 一般会計補正予算に対し大隈、平木、紙谷、大賀、森、奴間、村松、秋吉の8議員が質疑した。

イ) 子ども医療費システム改修補正は条例案と一体であった。私以外に質疑がないことは不思議であった。AIオンデマンドバス、0歳から2歳のギフトカード、タブレット修理などに質疑が集中した。

ウ) 一般会計補正に対し森、奴間の2委員が賛成討論を行った。

④決算審査特別委員会 (9月15日、19日、20日、22日、22日: 市長質疑、25日: 討論、採決)

ア) 15日の冒頭、市長は複数にわたるミスについて陳謝し、再発防止について全庁的に考えていると述べた。

イ) 市長は8月29日の本会議で第53号議案の提案理由の説明をしたが、コロナや物価高騰対策が市政運営上の最優先課題だったとしたうえで、施政方針に掲げた各事業の成果を羅列的に述べた。収支については簡単に触れた。

ウ) 質疑者は10人(うち1期目議員が5人)、延べ54人であった。討論は一般会計で2人だった。1期目議員にとっては初めての決算審査だったが意欲的に質疑が行われたことはよかった。

オ) 学校検診をめぐる質疑の過程で、学校教育課より2点の訂正があった。一つは肥満の基準の数値について30%ではなく20%だったということだった。もう一つは、心臓健診の結果に基づく保健指導について保健福祉部から報告があったという訂正だった。これについては委員長から教育部長並びに総務部長に対して強く注意し見解を求めた。

カ) 市長質疑で職員健康診査委託を取り上げた。

<質疑者記録>

2款: ①平木②紙谷③村松④奴間⑤森⑥秋吉⑦大賀(公共交通、妊産婦タクシー補助など)

3款: ①紙谷②平木③森④奴間(医療的ケア児、コメとごみ袋、子ども医療費扶助など)

4款: ①村松②紙谷③大賀④森⑤奴間(地球温暖化、健康対策、がん検診など)

5款: ①森

6款: ①秋吉②奴間③森④大賀

7款: ①森②大隈③今井④奴間⑤秋吉⑥村松(特産品PR、観光協会補助など)

8款: ①大賀②今井③村松④森⑤奴間

9款: ①森②奴間

10款: 学校教育①紙谷②森③大賀④奴間

社会教育①今井②村松③平木④森⑤大賀⑥奴間(少年の船、司書、クロスパル)

歳入: ①奴間(新型コロナ対応地方創生臨時交付金)

市長質疑: ①奴間(職員健康診査委託)

国保: ①森②大隈③奴間

介護: ①奴間②大賀

上水道: ①古賀②森

下水道: ①大賀

⑤二つの特別委員会

ア) JR古賀駅周辺開発調査特別委員会(9月12日)

JR古賀駅東口並びに西口の現地視察を行った。

イ) 浄水場のあり方調査検討特別委員会(9月14日)

災害発生時の水の状況並びに水道事業の将来推計について調査を行った。